

科目名	コンピュータ関連知識 1							年度	2024
英語科目名	Basic Computer Knowledge for Beginners 1							学期	後期
学科・学年	医療事務科 1 年次	選択	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	安本和則	教員の実務経験		有	実務経験の職種		情報処理		
【科目の目的】									
コンピュータを構成するハードウェア、ソフトウェアを理解できること、また、医事コンピュータ実務検定 3 級合格を目的とする。									
【科目の概要】									
コンピュータの情報表現や、ハードウェア、ソフトウェアについて学びます。									
【到達目標】									
A. 医療関連の業務において、ITに関する知識の修得が大変重要であることを理解し、主体的に知識を修得できている。 B. コンピュータのハードウェアの仕組みについて理解している。 C. コンピュータのソフトウェアの仕組みについて理解している。 D. コンピュータ内部の情報表現方法について理解している。 E. 学習した内容を活用して、検定試験問題に解答できる。									
【授業の注意点】									
コンピュータの仕組みであるハードウェア、ソフトウェアを理解することで、今後の医療IT化に対応できるようにする。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ITに関する知識の重要性を理解し、検定合格も含め、主体的に取り組めている	ITに関する知識の重要性を理解し、主体的に取り組めている	ITに関する知識の重要性は理解しており、取り組みに主体性が出てきている	ITに関する知識の重要性は理解しているが、受動的な取り組みに留まっている	ITに関する知識の重要性を理解できず、主体的に取り組めていない				
到達目標 B	ハードウェアの仕組みを理解しており、実務に活用できるスキルを修得している	ハードウェアの仕組みを理解しており、検定問題にも正しく解答できる	ハードウェアの仕組みを理解している	ハードウェアの仕組みをおおよそ理解できている	ハードウェアの仕組みをほとんど理解できていない				
到達目標 C	ソフトウェアの仕組みを理解しており、実務に活用できるスキルを修得している	ソフトウェアの仕組みを理解しており、検定問題にも正しく解答できる	ソフトウェアの仕組みを理解している	ソフトウェアの仕組みをおおよそ理解できている	ソフトウェアの仕組みをほとんど理解できていない				
到達目標 D	情報表現の仕組みを理解しており、実務に活用できるスキルを修得している	情報表現の仕組みを理解しており、検定問題にも正しく解答できる	情報表現の仕組みを理解している	情報表現の仕組みをおおよそ理解できている	情報表現の仕組みをほとんど理解できていない				
到達目標 E	学習内容を活用し、検定に確実に合格できるレベルの知識を修得している	学習内容を活用し、検定にほぼ合格できるレベルの知識を修得している	学習内容を活用し、検定の合格ラインレベルの知識を修得している	学習が不十分で、検定の合格ラインに到達できていない	主体性に欠け、学習も不十分なため、検定合格はかなり厳しい状態である				
【教科書】									
医事コンピュータ関連知識/楠建帛社									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
課題、小テスト、試験等を含めて総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンピュータ関連知識 1				年度	2024
英語表記		Basic Computer Knowledge for Beginners 1				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	・オリエンテーション ・ハードウェアの仕組みと動作	医療分野におけるITの重要性と検定試験の概要を理解する	1	医療分野のIT化	医療分野におけるITの重要性を理解できた	1	
			2	検定試験の概要	検定試験合格に向け、主体的な意識を確認した		
			3	5大装置と機能	コンピュータ内部の基本構造を理解できた		
2	ハードウェアの仕組みと動作	コンピュータ内部ではハードウェアがどのように構成されているかを理解する	1	入力装置・出力装置	様々な入出力装置の特徴を理解できた	1	
			2	記憶装置	記憶装置・補助記憶装置の違いを理解できた		
			3	インターフェース	様々なインターフェースの特徴を理解できた		
3	ソフトウェアの仕組みと動作	コンピュータ内部ではソフトウェアがどのように構成されているかを理解する	1	ソフトウェアの分類	基本ソフトと応用ソフトの違いを理解できた	1	
			2	OSの役割・機能	OSの役割と機能について理解できた		
			3	GUIについて	GUIの構成要素について理解できた		
4	ソフトウェアの仕組みと動作	代表的なソフトウェアの役割とその活用方法を理解する	1	Windows OS	Windows OS の管理機能と基本操作を理解できた	1	
			2	ワープロソフト	ワープロソフトの活用方法を理解できた		
			3	ハードとソフト	ハードウェアとソフトウェアの連携を理解できた		
5	コンピュータ内部の情報表現	コンピュータ内部ではどのように情報が扱われているかを理解する	1	アナログとデジタル	アナログ情報とデジタル情報の違いを理解できた	1	
			2	情報の単位	ビットとバイトの意味を理解できた		
			3	2進数とは	2進数の特徴と計算方法を理解できた		
6	コンピュータ内部の情報表現	基数の意味を理解し基数変換を活用できるようにする	1	8進数とは	8進数の特徴と計算方法を理解できた	1	
			2	16進数とは	16進数の特徴と計算方法を理解できた		
			3	基数変換	2/8/16進数間での基数変換が理解できた		
7	検定試験過去問演習	検定試験問題の出題傾向と難易度を把握する	1	出題傾向	過去問演習により、出題傾向が理解できた	1	
			2	問題の難易度	過去問演習により、問題の難易度が理解できた		
			3	理解度チェック	過去問演習により、自分自身の理解度を把握した		
8	検定試験過去問演習と効果測定	問題演習を行い、試験に対応できる力を養成する	1	出題傾向対策	出題傾向を踏まえ効果的な対策ができた	3	
			2	難易度対策	難易度を踏まえ、弱点補強ができた		
			3	効果測定	授業内試験にて、自己の修得度合いを確認できた		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等